

# 2024年度

## 登録防水基幹技能者

### 試験問題 (60分)

[選択問題：メンブレン]

受講番号		氏名	
------	--	----	--

#### 注意事項

- 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。
- 本冊子は8頁ある。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあった場合には、申し出ること。
- 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出すること。ただし、試験開始30分以内の場合は、退室できないので、静かに着席していること。
- 本冊子の持ち帰りは禁止する。解答用紙とともに提出すること。
- マークシート方式による解答の方法は次のとおりです。  
正解と思うものを(①～④)の中から1つだけ選び、解答用紙の解答欄にマークすること。  
2つ以上マークした場合は、誤答となります。
- 解答を訂正する場合は、訂正する解答を消しゴムできれいに消した後、新しい解答をマークすること。
- 受講番号及び選択問題を正しくマークすること。

選択問題は講習申込の際に選択した（受講票に印刷されている）問題をマークすること。

1. 「登録基幹技能者は、誰よりも高い倫理観とコンプライアンスの姿勢を持って仕事を行うことが求められる。」一般にコンプライアンスの訳として、**適切な**ものはどれか。

- ① 社会貢献
- ② 法令遵守
- ③ 安全第一
- ④ 効率優先

2. 登録防水基幹技能者の役割として、**最も不適切な**ものは次のうちどれか。

- ① 設計図書に基づいた施工計画書の作成
- ② 前工程・後工程に配慮した他の職長との連絡・調整
- ③ 生産グループ内の技能者に対する施工に係る指示、指導
- ④ 現場の作業を効率的に行うための技能者の適切な配置

3. リスクアセスメントにおいて、以下のリスクを点数で評価する場合、

[ ] 内に当てはまる数値として**正しい**ものはどれか。

「災害発生の頻度（可能性）が3点、災害の重大性が2点の時、リスクの評価は [ ] 点となる。」

- ① 1
- ② 5
- ③ 6
- ④ 10

4. 文中の [ ] 内に当てはまる語句として、**正しい**ものはどれか。

「熱中症予防対策として用いられるW B G Tの値は、暑熱環境による熱ストレスの評価を行う [ ] である。」

- ① 暑さ指数
- ② 不快指数
- ③ 心拍指数
- ④ 血圧指数

5. 文中の〔 〕内に当てはまる数値として、**正しい**ものはどれか。

「通常の空気中の酸素濃度は、ア〔 〕%と言われており、  
作業場所の酸素濃度が イ〔 〕%以上となるよう換気を行う。」

- ① ア. 30 イ. 25
- ② ア. 25 イ. 20
- ③ ア. 21 イ. 18
- ④ ア. 18 イ. 15

6. 消防法で危険物第4類に類別されている有機溶剤の性質に関する次の記述のうち、  
**不適切な**ものはどれか。

- ① 発火点の高いものは、低いものより燃えやすい。
- ② 水より軽い。
- ③ 溶剤蒸気は、空気より重い。
- ④ 極めて引火しやすい。

7. 文中の〔 〕内に当てはまる語句として、**適切な**ものはどれか。

「空気中の二酸化炭素が、時間の経過とともにコンクリートの中に入り込み、  
アルカリ性が弱くなる現象を〔 〕という。」

- ① 空隙化
- ② 可塑化
- ③ 中性化
- ④ 水密化

8. 鉄筋コンクリートに関する記述で、**不適切な**ものはどれか。

- ① 鉄筋とコンクリートの常温での線膨張係数は、ほとんど同じである。
- ② コンクリートは、圧縮力より引張力に強い。
- ③ 鉄筋は、アルカリ性雰囲気の中では錆びにくい。
- ④ 鉄筋コンクリート造は、壁構造である。

9. 1905 年に日本で初めて施工された防水工法は、次のうちどれか。

- ① セメント系防水
- ② アスファルト防水
- ③ 合成ゴム系シート防水
- ④ ウレタンゴム系塗膜防水

10. ラーメン構造に関する説明として、**不適切なものはどれか**。

- ① 柱、梁の部材の各節点が剛に接合された骨組み（構造）をいう。
- ② 最も一般的な構造形式で、全ての用途の建築物に適用できる。
- ③ 他の構造形式に比べて、耐震性、耐久性に問題がある。
- ④ 低層から、超高層までの様々な規模の建築物に適用できる。

11. 雨仕舞に関する記述の空白部を下記の事項から選び完成させよ。

「雨仕舞とは、建築物の屋根や壁の隙間（防水層端末、目地など）に雨水が掛からないようにしたり、雨水を移動させる〔 〕が働くないようにすることである。」

- ① 撥水性
- ② エネルギー（圧力差）
- ③ 親水性
- ④ 温度差

12. 近年の建築技術に関する記述のうち、**不適切なものはどれか**。

- ① 省エネルギーを考慮した設計が求められている。
- ② 都市における屋上の緑化は、ヒートアイランド現象の緩和に役立つ。
- ③ 鉄筋コンクリート構造による超高層建築は、可能である。
- ④ 鉄骨構造の超高層建築は、剛構造である。

13. A及びBに当てはまる数値として、**最も適切な**ものは次のうちどれか。

「ハインリッヒの法則によれば、1件の重大災害（死亡・重傷）が発生する背景には、A〔      〕件の軽微な事故と、B〔      〕件の怪我や事故に至らなかつたヒヤリ・ハットがあると想定される。」

- ①     A.     5              B.     1 0 0
- ②     A.     1 0            B.     1 5 0
- ③     A.     1 5            B.     2 0 0
- ④     A.     2 9            B.     3 0 0

14. 文中の〔      〕内に当てはまる数値として、**正しい**ものはどれか。

「労働安全衛生法で定められている悪天候等のうち、強風とは10分間の平均風速が毎秒〔      〕メートル以上のこときをいい、同法に定められている作業（例：高さ2m以上の足場組立作業）は中止とする。」

- ①     1 0
- ②     2 0
- ③     3 0
- ④     5 0

15. 建設産業廃棄物を減らすために、建設業で取り組まれている「建設現場の3R」として、**不適切な**ものは次のうちどれか。

- ①     リユース (Reuse)
- ②     リストラクチャー (Restructure)
- ③     リサイクル (Recycle)
- ④     リデュース (Reduce)

16. 次の〔 〕内に当てはまる語句として、**適切な**ものはどれか。

「日本国内で産業標準化法に基づき制定される国家規格をア〔 〕規格、国際標準化機構によって制定された国際規格をイ〔 〕規格という。」

- ① ア. J I S イ. I S O
- ② ア. J A S イ. I S O
- ③ ア. I S O イ. J I S
- ④ ア. I S O イ. J A S

17. 文中の〔 〕内に当てはまる語句として、**最も適切な**ものはどれか。

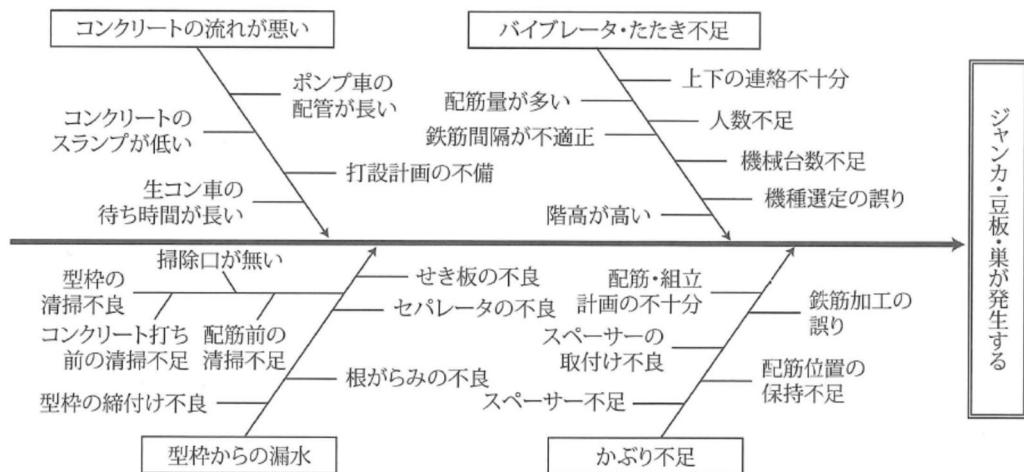
「施工管理の主要な管理項目として、品質管理、原価管理、工程管理、安全管理が工事現場の四大管理と呼ばれているが、さらに〔 〕管理を加え、五大管理と呼ぶ場合もある。」

- ① 健康
- ② 環境保全
- ③ 労務
- ④ 設備

18. O J T 教育の指導方法に関する次の記述のうち、**最も不適切な**ものはどれか。

- ① 人前で工夫してほめる。
- ② 仕事の指示・命令を与えながら教える。
- ③ 講習会に出席させる。
- ④ 禁止型でなく奨励型で叱る。

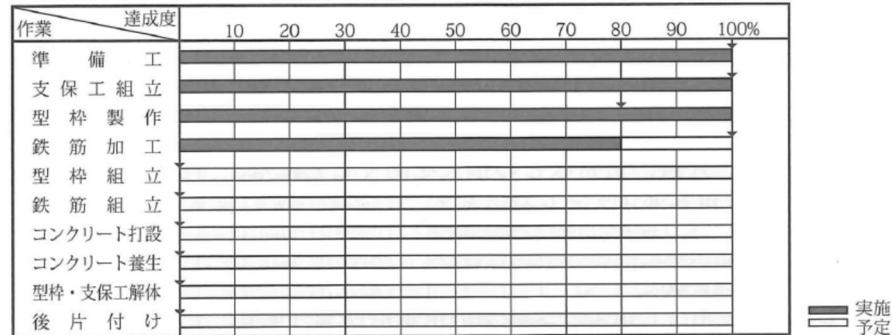
19. QC七つ道具に関する次の図の名称として、正しいものはどれか。



- ① 特性要因図
- ② チェックシート
- ③ ヒストグラム
- ④ パレート図

20. 下図の工程表の名称として、正しいものはどれか。

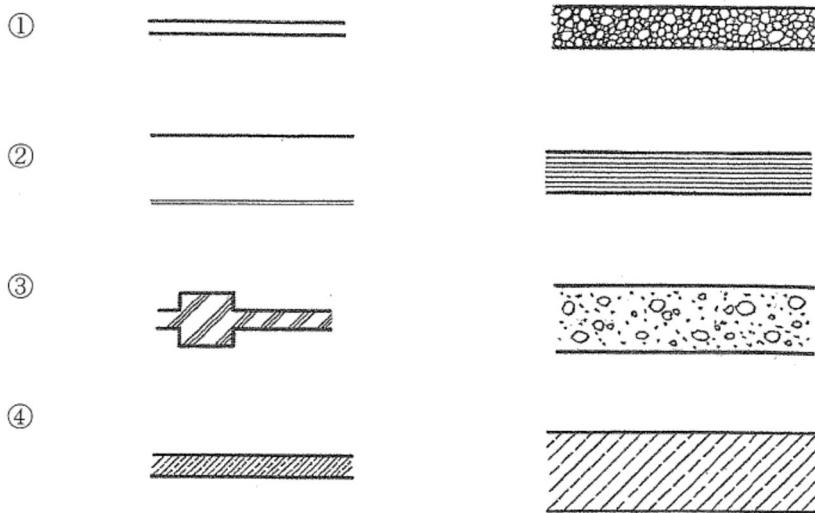
床版橋工事工程表



- ① バーチャート式工程表
- ② ネットワーク式工程表
- ③ グラフ式工程表
- ④ ガントチャート式工程表

21. 日本産業規格（JIS）の建築製図通則において、コンクリート及び鉄筋コンクリートの材料構造表示記号として、正しいものはどれか。

[縮尺 1/20 又は 1/50 程度] [現寸 及び 縮尺 1/2 又は 1/5 程度]



22. 文中の〔 〕内に当てはまる語句として、適切なものは次のうちどれか。

「化学品による事故や有害な影響を少なくするため、その危険有害性を国際的に統一したルールによって分類、表示する仕組みを〔 〕という。  
9種類の絵表示が決められており、危険有害性区分に応じて表示する。」

- ① G D P
- ② G H S
- ③ G P S
- ④ G B R

23. 鳥害を受けやすい防水層は次のうちどれか。

- ① 超速硬化ウレタンゴム系防水層
- ② 加硫ゴム系防水層
- ③ 塩化ビニル樹脂系防水層
- ④ F R P系防水層

24. 次の〔 〕内に当てはまる数値として、**正しい**ものはどれか。

「屋根スラブ、室内の床などで、露出仕上げの防水とする場合には、その下地の勾配は〔 〕とする。」

- ① 1／200 ~ 1／150
- ② 1／100 ~ 1／70
- ③ 1／50 ~ 1／20
- ④ 1／15 ~ 1／10

25. 「これまでの仕事を振り返り、今後の仕事に取り組む時に、大切と思うことを3つ箇条書きせよ。」